

三重県議会議員 下野 幸助 県政レポート

2019 夏号 VOL.28

発行：三重県議会議員下野の幸助事務所

KOSUKE'S EYE

8月に入り毎日猛暑が続きますが、皆様にはお健やかに過ごしていることと存じます。さて、日頃は下野の幸助県政レポートをご覧ください、誠にありがとうございます。おかげさまで、2019年4月に三重県議会議員（鈴鹿市選挙区）3期目に当選させて頂きました。引き続き県民の付託に応じられるよう県政課題の一つずつ取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。今回の県政レポート28号では、通算10回目となった一般質問（6月議会）の概要や令和元年度当初予算の公共事業（道路や河川等）や財政の概要などを記載しております。暑さ厳しき折、こまめな水分補給、適度なエアコンを利用して頂き皆様お元気で過ごしてください。



4月9日当選証書授与式

三重県議会議員（鈴鹿市選出）
下野 幸助 [42歳]

【現在の主な役職】

- 1 総務・地域連携常任委員会委員（三重）
2 予算決算常任委員会委員（三重）
3 三重県議会 入部・入職・退職議員連盟 副会長
4 中部国際空港 副会長
5 四日市港管理組合 議長

令和元年三重県議会定例会(6月) 下野幸助議員、一般質問に登壇！

令和元年三重県議会定例会(6月)で、3項目について質問しました。

■質問項目

- 1 人口減少による若者の県内定着と都市政策について
- 2 子ども子育て支援策について
- 3 交通安全対策について

1 人口減少による若者の県内定着と都市政策について

(1) 若者県内定着緊急対策会議などの取組状況について

下野質問 毎年、三重県内の若者（15～29歳）3,000人以上が転出超過（流出）！

三重県の人口減少対策につきましては、平成30年3月に総括質疑において鈴木知事に対し、部局横断的に危機感をもって対応してもらいたいという要望をいたしました。その後、若者県内定着に関する緊急対策会議を設置して平成30年5月から平成31年1月までの間に6回の協議し、「働く場づくり」、「ひとづくり」、「きっかけづくり」の3つの観点から部局横断的な事業を設けられました。これらの事業で3000人以上の若者の人口流出は本当に食い止められますか。平成30年度の県外転出超過数の目標は1880人、残念ながら実績は2.2倍以上の4225人です。

図1 三重県の総人口・高齢化率の推移と将来推計

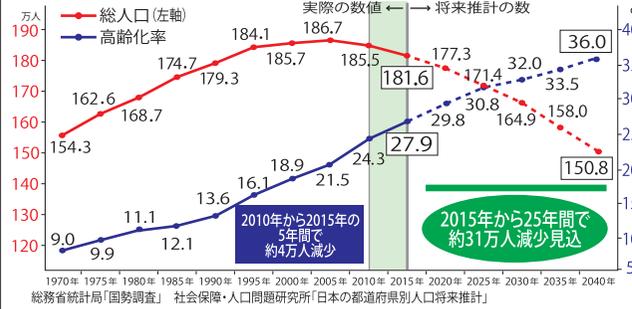


図2 三重県年間人口減少数（直近3年 単位：人）

人口減少要因	2016年 確定値	2017年 確定値	2018年 速報値
①自然減少 出生数－死亡数	▲6,628	▲7,868	▲8,318 1.3万人－2.1万人
②社会減少 転入数－転出数	▲3,597	▲4,063	▲4,225 2.6万人－3.0万人
三重県 年間人口減少数 (①自然減少+②社会減少)	▲10,225	▲11,931	▲12,543

県民人口／182.8万人(2014年1月)→178.2万人(2019年5月)
今後、三重県では毎年1.2万人強の人口減少が続く

知事答弁 危機感を持ち、この4年間の重要政策課題としてしっかり取り組みます。特に若者の人たちに三重に行けば成長できる、三重でなら安心して暮らせる、三重でなら希望が叶う、そのような観点からどういう政策を構築すべきか、若者の視点に立って三重の発展につなげていきたいと思っております。

(2) 市街化調整区域での開発について

下野質問 平成31年3月に新名神高速道路が開通し、その高速道路近郊に、その機能を生かすべく企業誘致や物流拠点、工場の建設などが今後、想定されます。鈴鹿市では鈴鹿PAスマートIC周辺に約17.7haの工業系の土地区画整理事業が進んでいる一方で、市街化調整区域については基本的に住宅などの建設ができない区域となっています。そこで高速道路の開通や企業誘致などを契機に人口減少対策を図るべく、市街化調整区域においても住宅などの建設が可能となる既存集落活性化型地区計画を検討したい地域があります。今後、このような環境において、県当局の都市政策の取り組みについてお尋ね致します。

県土整備部長答弁 県としましては、市町において、地域の実情に即し柔軟に既存集落活性化型地区計画などを策定することができるよう、指針をお示しているところでございます。今後も市町を対象とした研修会や会議等の場で、当地区計画の制度について丁寧な周知に努めるとともに、活用事例やその効果等について情報交換を行うなど、十分に市町と連携していきたいと考えています。

2 子ども子育て支援策について

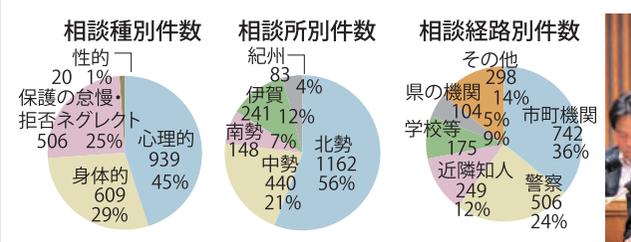
(1) 児童相談の早期対応と再発防止策の強化について

下野質問 過去9年で約4倍の件数。市町機関と警察のさらなる連携が急務！

2009年から2018年までの児童虐待相談対応件数は541件から2074件と約4倍になっています。北勢児相が県全体の過半数を占めることから平成31年4月には鈴鹿・亀山が独立し鈴鹿児童相談所が開業されました。さて、相談件数が増し、認知から行動へ移らなければならない事案の増加に対して、一時保護等、迅速にケアしていく体制強化や充実が必要になると考えますが、県として増加要因をどのように考え、今後どのように行動していくのか、お聞かせ願います。また、県として再発防止の必要性と具体的な政策についてお伺いします。



図4 2018年度 相談種別、相談所別、相談経路別件数と比率



子ども・福祉部長答弁 県では増え続ける児童虐待相談に対応するため、児童相談所職員の増員に加え、弁護士や警察官の配置、鈴鹿児童相談所の新設、オンライン化による児童相談センターと警察本部の情報共有体制の構築など、児童相談体制の強化に取り組んでまいりました。今後も、昨年12月に国が策定した児童虐待防止対策体制総合強化プランにおける児童福祉司等の増員への対応など、児童相談所のさらなる体制強化を図ってまいります。また、全国に先駆けて開発・導入したリスクアセスメントツールの活用や児童相談対応へのAI技術導入の実証実験など、一時保護をはじめとする児童相談所業務の質の向上にも引き続きしっかりと取り組んでまいります。

(2) 子ども心身発達医療センターの運営について

下野質問 児童精神科の初診が10か月(2019年6月～2020年3月)待ち！

私がこの質問をしようと思ったきっかけは、5月末に発達障害のお子様を持つ何人かのお母さま方から、「子ども心身発達医療センターの児童精神科初診は、もう今年度、来年3月までおしまい、とても残念で悲しい」というお言葉を頂いたからです。発達障がい児への医療、福祉に関する支援ニーズが高まる中、しっかりと、この子ども心身発達医療センターの診療体制の強化、センターの初診待ち改善を含む運営改善の見直しに向けた今後の対応をお伺いします。

子ども・福祉部長答弁 発達障がい児について本県の18歳以下の潜在的な患者数は少なくとも9000人近くになると推計しています。一方で、平成29年10月から平成30年9月まで1年間、センターの外来患者数は約3200人であり、センターだけで県内全ての発達障がい児の診療に対応することは困難な状況があり、より身近なところで必要な医療を受けることが可能となるよう、地域の医療機関との連携と役割分担をさらに進めることや発達障がい児の診療に見合った診療報酬の見直しも国に要望するなどセンターの診療体制の強化、地域の医療機関との連携、市町との連携にしっかりと取り組んでまいります。

3 交通安全対策について

区画線・横断歩道の補修には2～3年程度を要する！

下野質問 区画線・横断歩道の補修には2～3年程度を要する！

県民ニーズが多い県管理道路の区画線、横断歩道の塗り替えについて、鈴木知事は安心安全の向上のために積極的に取り組んで行くというコメントをいただいておりますが、現場レベル、つまり県民の要望とは乖離があるのが現状です。(下表参照)実施率は外側線、横断歩道ともに3割程度です。県民、特に子どもや高齢者の交通安全対策の基本である区画線、横断歩道の補修を現場レベルで早急に対応して頂きたい。

県内の外側線および横断歩道の補修状況		
外側線(レベル4)	必要延長(km)	実績延長(km)
平成30年度末決算	1,361	360
平成31年度当初予算	—	500(予定)
※レベル4:剥離が極めて進んでいる外側線		
横断歩道	必要数(本)	実績数(本)
平成30年度末決算	3,368	1,175
平成31年度当初予算	—	2,008(予定)

県土整備部長、警察本部長答弁 県管理道路の区画線の引き直し実施箇所の選定については、まず、事故多発箇所及び通学路交通安全プログラムに位置づけられた要対策箇所を優先して実施しており、その次に、それ以外の実施候補箇所から周辺地域の状況、道路の線形、歩道や通学路の有無、交通量の各指標を基準として、優先度の高い箇所から引き直しを実施しています。今年度は例年の2.5倍となる約500キロの引き直しを実施していきます。横断歩道などの道路標示の塗りかえ予算は昨年度と比較して、約1.7倍の1億77百万円を承認して頂き横断歩道は約2000本を塗りかえる予定です。各警察署が施工業者に直接、塗りかえ箇所を指示し、子どもの安全を守るための通学路など優先順位の高い箇所から迅速に対応していきます。

令和元年度当初予算

主な幹線道路・河川等工事進捗状況(鈴鹿市内)



■道路

路線名 (事業箇所)	事業延長 (km)	令和元年度 事業費(千円)	備考 (完成年度など)
1 中勢バイパス4工区 (北玉垣町～野町)	2.8	53億円	平成30年度 用地取得100%
2 鈴鹿四日市道路 (稲生町～四日市市采女町)	7.5	(-)	北勢バイパス 未事業化区間
3 23号電線共同溝	未定	212,000	白子電線共同溝
4 国道306号 伊船バイパス (長澤町～追分町)	0.7	94,500	道路工、舗装工 標識設置工
5 神戸長沢線(II期) (伊船町～長澤町)	1.4	61,861	舗装工、用地測量 道路設計
6 鈴鹿環状線 磯山バイパス(II期) (徳田町～五祝町)	1.7	375,250	道路工、道路設計 用地買収完了
7 鈴鹿環状線 国府バイパス(I期) (平野町～国府町)	2.0	28,125	用地買収 補償
8 神戸長沢線 (弓削町 定五郎橋周辺)	0.2	29,672	計画検討 道路設計
9 神戸長沢線 (長澤町 鈴鹿IC前)	0.3	5,137	右折レーン延長 測量設計
10 国道306号 (東庄内町～伊船町)	1.2	10,500	用地買収 補償
11 亀山鈴鹿線(野町国府線) (三日市町～道伯町)	0.9	162,750	建物調査 用地補償
12 上野鈴鹿線(野町西条線) (南玉垣町～安塚町)	0.3	118,500	道路工事
13 稲生山線 (白子町)	(-)	5,000	あんしん路肩 測量・設計
14 市道 汲川原橋徳田線(I期) (庄野羽山3丁目～平野町)	0.9	454,000	道路工事
15 市道 汲川原橋徳田線(II期) (平野町～国府町)	1.3	93,000	設計ほか

■河川・海岸堤防の改修

路河川・海岸名	大字等	事業費(千円)	備考
16 一級河川鈴鹿川 河川流域	河川流域	437,700	除草・樹木撤去など
17 一級河川鈴鹿川 中富田・小田 北一色など	中富田・小田 北一色など	1,072,000	堤防法尻補強事業 高潮堤防整備事業
18 一級河川芥川 加佐登町～庄野町	加佐登町～庄野町	62,325	橋梁・護岸・踏切設計など
19 二級河川堀切川 白子1丁目ほか	白子1丁目ほか	52,500	新堤盛土工
20 千代崎海岸 海岸侵食対策事業	南若松	73,200	離岸堤工事 海岸侵食対策事業
21 南若松地区海岸 海岸高潮対策事業	南若松	142,800	離岸堤工事 海岸高潮対策事業

1～3 国管理 4～17 県管理(国道3桁道路は県管理) 18～21 市管理

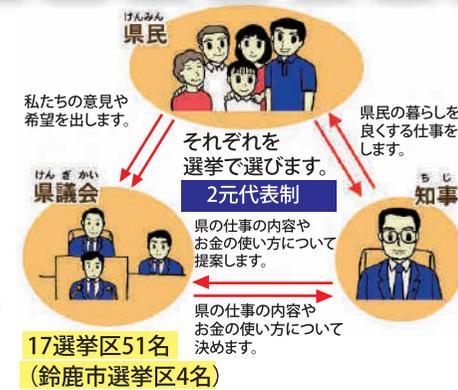
三重県議会の概要

県議会ってなんだろう?

県議会は県民のみなさんから選挙で選ばれた代表者<議員>が、みなさんのくらしを良くするため、いろいろなことを決める場所です。
県議会で決まったことを実行するのが知事であり、県の仕事は県議会と知事が車の両輪のように進めます。

県議会はどんな仕事をしてるの?

県議会には多くの仕事がありますが、主なものは
●県のきまり<条例>を決めます。
●県の仕事をするために必要なお金の使い方<予算>を決めたり、正しく使われたかどうか<決算>を調べます。
●県の仕事、県民のために行われているかどうかを調べます。<県内・県外調査>
●国に対して、こうしてほしいという意見を出します。<意見書>



委員会の仕事

県の仕事を7つの委員会に分けて担当し、議案などをくわしく調べたり話し合ったりしています。
●総務地域連携常任委員会(下野幸助所属)
●県の仕事のやり方を検討したり、税金のことなどに関する仕事
●県の南部の地域を元気にするための仕事
●スポーツをさかんにする仕事
その他、下記の6つの委員会があります。
●戦略企画雇用経済常任委員会
●環境生活農林水産常任委員会
●医療保健子ども福祉病院常任委員会
●防災県土整備企業常任委員会
●教育警察常任委員会
●予算決算常任委員会

【三重県財政の状況】

県の財政を一般家庭に置き換えてみると...



■収入

(単位:万円)

	平成19年度	平成29年度	備考
給料	490	487	県税収入、地方交付税、使用料、諸収入など
親からの仕送り	77	111	国庫補助金など
貯金取崩し	26	14	基金の取り崩し
ローン	80	77	地方債(臨時財政対策債は除く)
計(※1)	673	689	

■支出

(単位:万円)

	平成19年度	平成29年度	備考
生活費(※2)	554	553	1万円の減少
ローン返済	97	123	公債費
計	651	676	
ローン残高	980	1,395	10年間で約1.4倍
貯金残高	17	7	財政調整のための基金
貯金残高	28	19	その他特定目的基金

(※1) 10年間の収入推移 673万円⇒689万円(16万円増加) (※2) 10年間の生活費推移 554万円⇒553万円(▲1万円)

生活費の主な内訳

- 福祉の向上に 74万円⇒114万円(+40万円)
- 犯罪・交通事故防止に 40万円⇒38万円(▲2万円)
- 道路・住宅・公園などの整備に 98万円⇒73万円(▲25万円)
- 農林水産業の発展に 41万円⇒35万円(▲6万円)
- 教育・文化に 184万円⇒178万円(▲6万円)



しもの幸助

活動報告 REPORT

2019.5月～7月



5月18日 若松地区海岸清掃



5月20日 白子小学校 津波避難訓練



5月26日 交通安全フェア



6月16日 鼓ヶ浦海岸清掃



7月1日 小岐須橋溪谷 山開きアマゴ放流



7月5日 鼓ヶ浦海岸海開き



7月6日 第7回伊勢形紙伝統工芸土展



7月11日 四日市港管理組合議会 令和元年第1回定例会

三重県議会議員 新政みえ所属

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722



しもの幸助公式ホームページ

<http://www.k-shimono.com>

最新の活動状況がご覧いただけます
皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。

ホームページ



最新情報
フェイスブック



■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール(42歳)

- 1976年 11月 鈴鹿市に生まれる 現在42歳(妻、長男、長女 4人家族)
- 1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
- 1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
- 1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
- 1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
- 1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
- 2001年 10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
- 2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
- 2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
- 2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)初当選
- 2015年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)2期目当選
- 2016年 11月 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟 副会長 就任
- 2019年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区)3期目当選
- 2019年 6月 四日市港管理組合議会 議長 就任
- 2019年 6月 三重県議会スポーツ振興議員連盟 副会長 就任